

本荘幼稚園 教職員による自己評価表

評価～A：とてもそう思う　B：そう思う　C：そう思わない　D：全く思わない　E：わからない

		評価項目	A	B	C	D	E	回答数
保育について	1	一人一人の幼児の理解と発達状況に応じた指導計画であったか。	2	9	1	0	1	13
	2	日々の保育日誌・週日案などをきちんと記入し、検討し話し合ったりしたか。	1	5	5	0	2	13
	3	行事や日々の活動など工夫し、話し合って作成しているか。	5	7	0	0	0	12
	4	子ども達が支え合い互いに成長することを念頭に置いた言葉かけや環境の構成に気を付けたか	3	9	1	0	1	14
	5	聖書やキリスト教保育誌を読んだり、自分で調べるなどして、自ら進んでキリスト教保育に対して理解しようと努め、実践をしようとしたか。	1	7	5	0	1	14
	6	幼稚園要領を見たり、保育の参考書を読むなどして情報を集めたり、よりよい保育について理解しようと努力したか。	0	10	4	0	0	14
	7	幼児の自発的な活動を引き出し、さらに広めたり深めたりできるように工夫や準備をしているか。	2	9	2	0	1	14
	8	一人一人の特性を理解し、友達関係を育みながら軌道修正しながら保育したか。	5	7	2	0	0	14
	9	温かい態度と優しい言葉かけをしたか（感情的にな言ったりしなかった）。	2	10	2	0	0	14
	10	幼児と共に活動を心から楽しんで保育をしたか。	7	7	0	0	0	14
	11	家庭と連携し、個々の幼児について把握して保育に生かしたか。	4	7	3	0	0	14
	12	適切な援助や思いやりの心をもって、幼児の緊張や不安を解消できたか。	3	9	1	0	1	14
	13	施設・遊具の安全管理、幼児のへの安全指導が万全であるか。	1	8	5	0	0	14
	14	コーナー活動では安全第一に配慮し、子ども達から目を離すことなく安全な保育に心がけたか。	4	8	1	0	1	14
保育者としての義務	15	個々の幼児を大切にした年齢別活動やクラス経営がなされたか。	3	9	0	0	0	12
	16	保護者と話をする機会をできるだけ設け、家での生活の様子を把握するとともに園での様子を知らせるなどして保護者と連携して子どもを育てているか。	4	10	0	0	0	14
	17	事故、怪我、問題が起きた時場合、手当や保護者への説明や対応が迅速で的確か。	5	4	0	0	0	9
	18	保育室、ホール、廊下、トイレなどが整理・整頓され、清潔で安全であったか。	2	9	2	0	1	14
	19	園全体の運営方針、目標を理解し、仕事に反映させているか。	1	10	3	0	0	14
	20	園の運営を自分のものとし、話し合いの際には建設的な意見を出しているか。 （パートの方：同僚と前向きに話し合いながら仕事をさせているか？）	3	10	1	0	0	14
	21	必要に応じて管理職や主幹教諭にきちんと報告、連絡、相談しているか。	7	7	0	0	0	14
	22	職務や当番・行事担当者として責任をもって工夫して努めたか。	6	6	0	0	1	13
	23	園児のプライバシーに関する情報などの秘密を守っているか。	10	4	0	0	0	14
＜自由記述＞								

＜ 考 察 ＞

1 A や B が多く C 以下が少ない。

よって、

- ・大きな問題はなく、現状は安定している。→園としての基盤が整っている。

2 園としての強み

○幼児教育における核心部分である「子ども理解・個別対応」の部分が高評価である。

一人ひとりの発達に応じた保育や、友だち関係をふまえた保育がなされている。

○保護者との連携も良好であり丁寧な対応や話し合いに努めていることで信頼関係が築かれていると感じる。

3 改善するために

日々の保育記録をきちんとつけることや話し合いによる検討など、職員間で共有が必要である。忙しさによる時間不足であることが考えられるので検討する必要がある。

他園の例を参考にしたり、時間を見直すなどして時間確保に努めたい。

4 自由記述より

先生方が、いつも子ども中心に考えているという姿勢を評価したい。また、自分自身を振り返り、大変謙虚に且つ熱心に学びたいという意欲が伝わる。

5 園長より職員のみなさんへ

2025年度は、先生方の落ち着いた優しい対応をいつも有難く思い、感謝でした。

100周年は改築の年でもあります。せまい園舎で、なかなか思い通りに進まないこともあるかもしれません。「できること」や、「できる場所」を考えながら協力しながら進めていしましょう。のびのびと育つ子どもは、のびのびと明るい前向きな保育者がいてのことです。いろいろな個性を持った人がますます増えていきます。私たちは保育者という専門職。様々な関わり方を考え、また、信頼関係を築き、子ども達の未来の幸せのために頑張っていきたいです。